



アコーディオン 取扱説明書

いつまでも楽しく演奏していただく
ために

S SUZUKI

 <http://www.suzuki-music.co.jp/> 
インターネットでスズキホームページをご覧ください。

●アコーディオンの種類

合奏用：スチールリード、2列笛で美しい音色、豊かな音量です。持ち運びが自由ですから野外活動にも活用できます。

合奏用アコーディオンA-34シリーズはソプラノ、アルト、テナー、バスと音域が分かれておりアンサンブル、楽器合奏に最適です。



合奏用
A-34シリーズ



合奏用(A-34シリーズ)スチールリード・2列笛・背負バンド・ハードケース付

品 番	鍵 数	音 域
A-34S ソプラノ	34	$c^1 \sim a^3$
A-34A アルト	34	$f \sim d^3$
A-34T テナー	34	$F \sim d^2$
A-34B バス	34	$F_1 \sim d^1$

独奏用 左手のベース部のボタンの数によりA-80、A-120の2種類あります。
 右手でメロディ、左手で和音・ベースを演奏できます。独奏・伴奏・合奏と広い用途があります。
 持ち運びが自由ですから野外活用などにも利用できます。



A-80 仕様

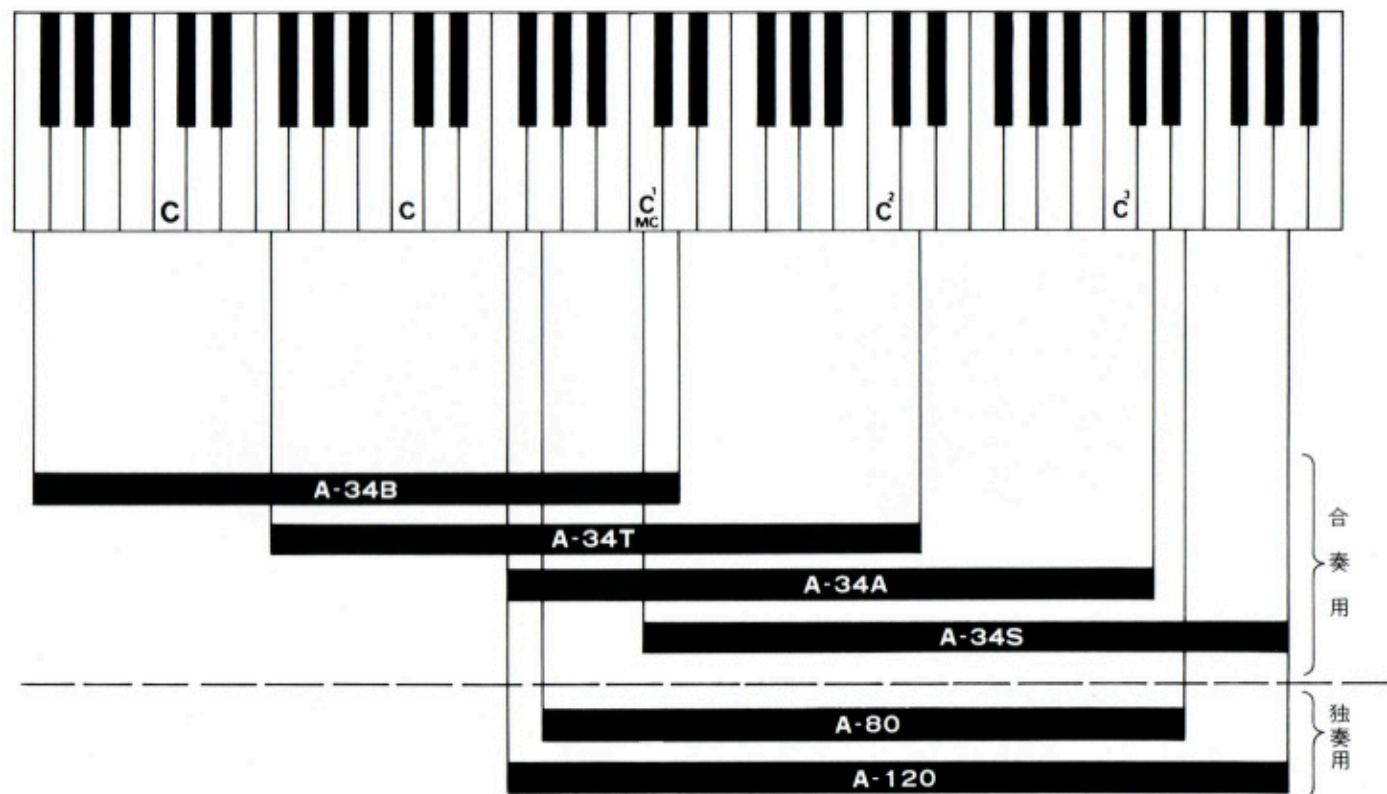
- 34鍵 3列笛 $g \sim e^3$
 - メロディースイッチ5コ
- 
- The diagram shows five circles, each representing a melody switch. Each circle contains a horizontal line with a single dot positioned at different intervals along the line, indicating the specific notes or chords each switch controls.
- 80ベース・ベーススイッチ3コ
- 
- The diagram shows three rectangular boxes, each representing a bass switch. Each box contains the letters 'X' and 'O' arranged in a specific pattern to denote the bass notes or chords.
- ハードケース付



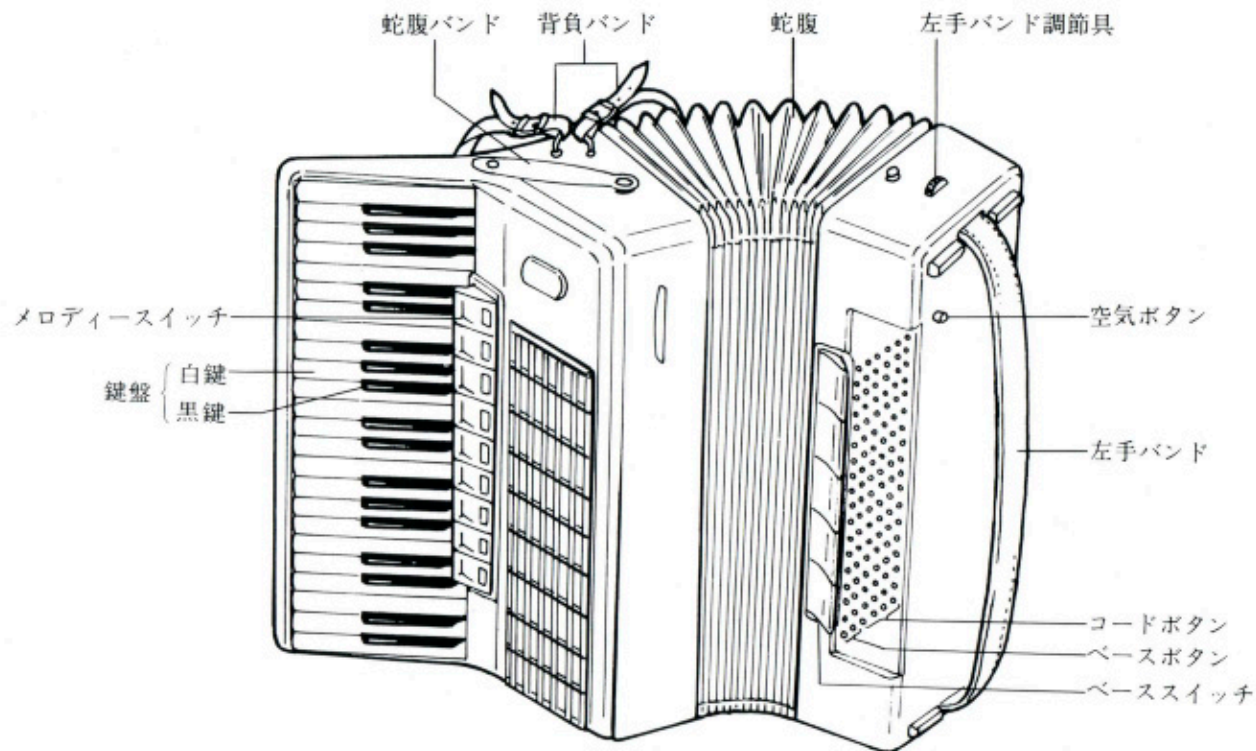
A-120 仕様

- 41鍵 4列笛 $f \sim a^3$
 - メロディースイッチ11コ
- 
- The diagram shows eleven circles, each representing a melody switch. Each circle contains a horizontal line with a single dot positioned at different intervals along the line, indicating the specific notes or chords each switch controls.
- 120ベース・ベーススイッチ5コ
- 
- The diagram shows five rectangular boxes, each representing a bass switch. Each box contains the letters 'X' and 'O' arranged in a specific pattern to denote the bass notes or chords.
- ハードケース付

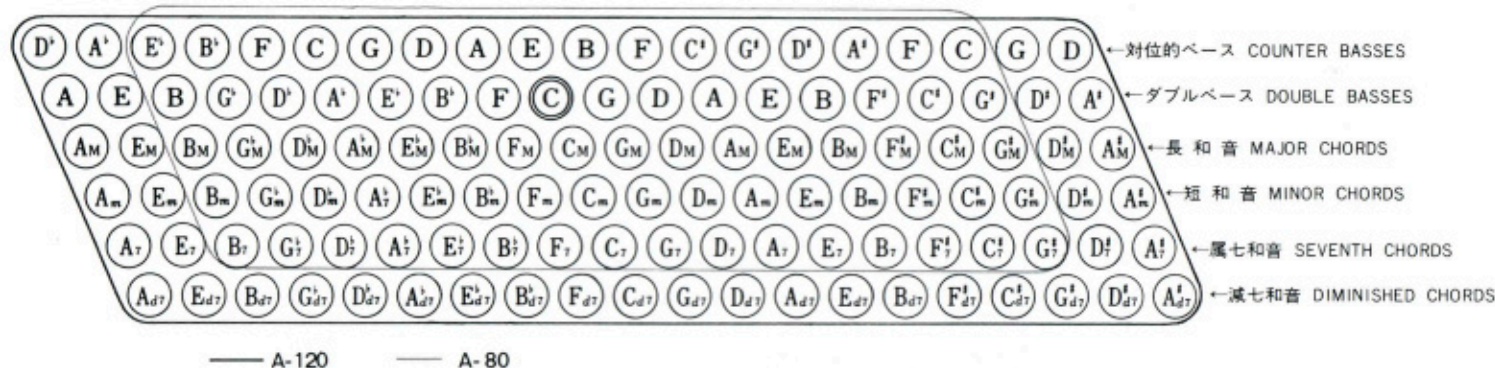
●アコーディオンの音域表



●各部の名称



●独奏用ベースセクション配列表



独奏用アコーディオンには左手で操作するボタンがあります。

ベースセクションの1コのボタンを押すだけで精巧なアクションのはたらきにより4音～8音が同時に発音し美しい和音を構成します。

たとえば、中央Cのベースボタンの列はCが根音となる和音で各ボタンの音は右の表のようになっています。

	コードボタン	発音する音名
(E)	対位的ベース	E、e、e ¹ 、e ²
(C)	ダブルベース	C、c、c ¹ 、c ²
(C _M)	長和音	c ¹ 、c ² 、e ¹ 、e ² 、g、g ¹
(C _m)	短和音	c ¹ 、c ² 、e ^{b1} 、e ^{b2} 、g、g ¹
(C ₇)	属7和音	c ¹ 、c ² 、e ¹ 、e ² 、g、g ¹ 、b ^b 、b ^{b1}
(C _{d7})	減7和音	c ¹ 、c ² 、e ^{b1} 、e ^{b2} 、a、a ¹

メロディースイッチとベーススイッチ

スイッチの切替えにより笛列のいろいろの組合わせを選ぶことができ、深みのある重厚な音色や、また明るくはりのある軽快な音色など、曲想や雰囲気にあった音色を選ぶことができます。より高度な演奏テクニックに対応できる魅力ある便利な機構です。



《メロディースイッチ》の説明

鍵盤の笛の列は右の図のように高音、中音2、低音の4列（A-80 3列）の笛がついています。曲想などに合わせ、高音と中音、中音と低音などのいろいろな音色の組合わせを選ぶことができます。スイッチレバーにある記号でそれぞれの曲に合った音色を選んでください。たとえば、のレバーでは高音と中音のオクターブ奏になります。



《ベーススイッチ》の説明

ベースの笛の列は中音、低音、ベース、ダブルベースの4列の笛の列がついています。ベーススイッチには記号がついていませんが、音の組合わせは仕様のベーススイッチの項の記号を御参照ください。たとえば、



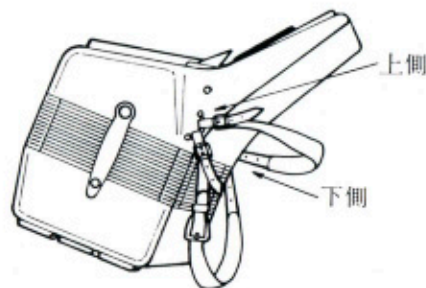
のベーススイッチを押した場合は、低音、ベース、ダブルベースの3つの組み合わせになります。

●演奏の準備

1. 背負いバンドの取付け

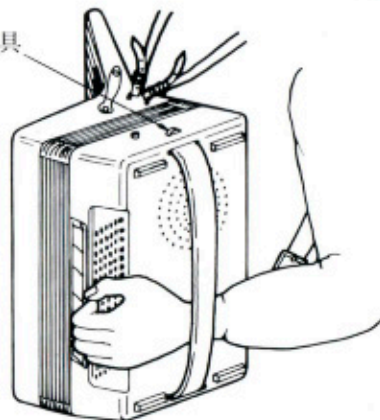


背負いバンドの肩当(ふくらみ)に近い方の端をアコーディオンの上側の金具に取り付け他の端は下側の金具に取り付けます。



2. 左手バンドの調節

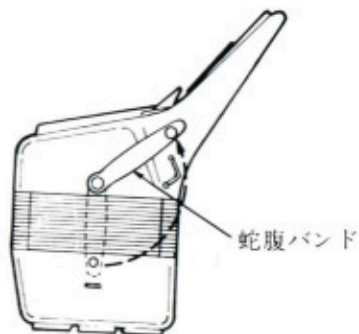
左手バンド調節具



左手をバンドに通し、蛇腹の開閉操作が円滑に行えるように左手バンド調節具でバンドの張りを調節します。

3. 蛇腹バンド

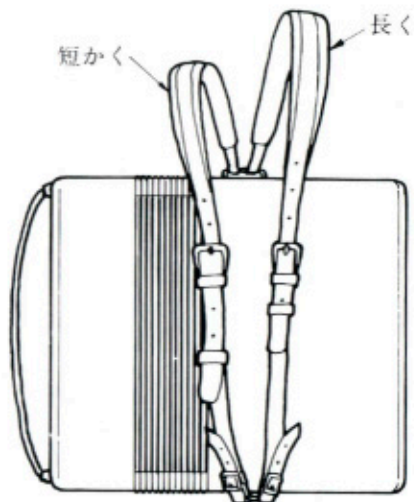
演奏するときには蛇腹バンドの下側の止め金をはずし、半回転させて鍵盤側の止め金に納めます。



4. 背負い方

演奏者の体に合わせて右手で鍵盤がひきやすいようにバンドの長さを調節します。左手で蛇腹を操作したとき楽器がぐらつかないようにしっかりと固定します。

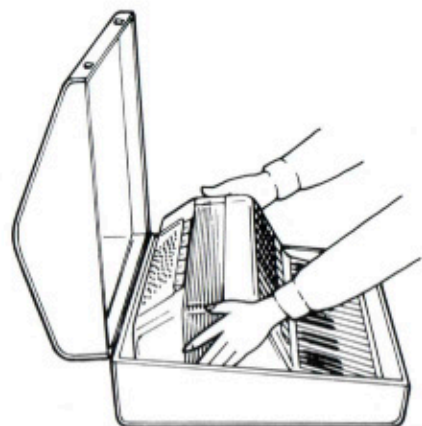
※左側のバンドを右側のより少し短かくすると鍵盤が身体のやや中央よりになり、弾きやすくなります。



●楽器の保存と取扱い

1. 使用しないときは必ずケースに入れましょう。

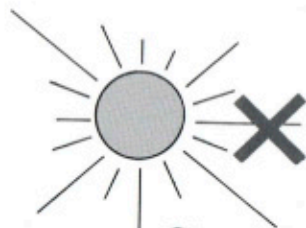
ケースからの出し入れのときは、本体の図のように両手で支えて、ていねいに扱きましょう。
ほこり、湿気を防ぐためにやわらかい布に包んで入れておくのが更によいでしょう。



2. 湿気・過熱はアコーディオンの大敵です。

湿度が高くなると皮・木材などが膨張して各部の確実な動作を妨げます。またリードが錆びることがあります。

温度が高くなるとリードプレートを固定しているワックスが軟化します。ですからアコーディオンを日光の日射しの強いところにさらしておいたり、暖房器の近くに置いたりしないで下さい。



3. 急激な振動を与えないようにしましょう。

アコーディオンは非常に精密に組立てられていますので、乱暴に扱うとリードプレートを固定しているワックスがゆるむなどの故障が起りがちです。



4. 寒い室から暖かい室に移ったときには。

温度差が多いときにはケースからアコーディオンを出し、空気ボタンを押したままでジャバラを数回往復させて内部の空気を入れかえ、しばらくしてから使用します。このとき楽器がしめることがありますが、しばらく放置すれば細かい水滴は自然に消えるものです。

● もしも故障のときは、お買い上げの店または当社営業所に御相談下さい。

アフターサービスについて

全国のスズキ営業所が責任をもってアフターサービスを行っております。

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区横家 2-25-12 ☎(053)461-2325

鈴木楽器販売株式会社

スズキお客様ご相談窓口 ☎0120-7-94019

月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
9:00～12:00 13:00～16:00

事務所移転等のため、上記住所・電話番号が変わる場合がございます。
最新の情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。